※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱｂ	単位数	２単位	年次	全年次 数学Ⅰ(3 単位)履修済後
使用教科書	「最新　数学Ⅱ」　（数研出版）						
副教材等	「３ＲＯＵＮＤ　数学Ⅱ＋Ｂ」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、みずから考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。

２　学習の到達目標

・三角関数（加法定理）や指数関数と対数関数や微分法と積分法について、概念を理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ることを目標とする。
・三角関数（加法定理）や指数関数と対数関数や微分法と積分法について、事象を数学的に考察する能力を培うことを目標とする。
・三角関数（加法定理）や指数関数と対数関数や微分法と積分法について、数学のよさを認識し、習得した知識、習熟した技能、事象を数学的に考察する能力等を活用する態度を育てることを目標とする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的活動を通して、三角関数（加法定理）や指数関数と対数関数や微分法と積分法といった内容において基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
前半	指数関数と対数関数	指数法則 対数関数とそのグラフ 対数 対数の性質 対数関数とそのグラフ 常用対数	a:指数と対数を理解する 指数関数・対数関数のグラフの概形，特徴を理解している 底と１の大小に注意して，指数関数・対数関数を含む不等式を解くことができる b:いろいろな計算ができる c:様々な問題に意欲的に取り組む	プリント・小テスト	プリント・小テスト	授業態度
	微分法と積分法	第1節　微分法 平均変化率と微分係数 導関数 いろいろな関数の微分 接線	a:いろいろな関数の微分ができる b:微分係数。導関数の意味が理解できる c:様々な問題に意欲的に取り組む	プリント・小テスト	プリント・小テスト	授業態度
後半	微分法と積分法	第1節　微分法 関数の増減 関数の極大･極小 関数の最大･最小 方程式･不等式への応用	a:増減表を用いて関数の増減を調べる b:方程式の実数解の個数を，関数のグラフとx軸の共有点の個数に読み替えて考察できる c:解答方法を確認する 方程式や不等式を関数的視点で捉え，微分法を利用して解決しようとする	プリント・小テスト	プリント・小テスト	授業態度
		第2節　積分法 不定積分 不定積分の計算 定積分 定積分の性質 面積	a:不定積分・定積分の計算ができる 直線や曲線で囲まれた部分の面積を，定積分で表して求めることができる b:面積を求める際には，グラフの上下関係，積分範囲などを，図をかいて考察することができる c:様々な問題に意欲的に取り組む	プリント・小テスト	プリント・小テスト	授業態度
	三角関数	第2節　加法定理 加法定理 加法定理の応用 三角関数の合成	a:加法定理を利用して，種々の三角関数の値を求めることができる 弧度法を理解する 三角関数の合成ができる b:2 倍角の公式を利用して，やや複雑な三角関数を含む方程式･不等式の角を統一して考察することができる c:加法定理から，2 倍角の公式，半角の公式を導こうとする 様々な問題に意欲的に取り組む	プリント・小テスト	プリント・小テスト	授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度